

大崎地域SDGs未来セミナー

次世代の眼から見る大崎耕土SDGsアクション

2021年

12月4日(土)
13:00~15:00



日時

開催方法

ハイブリッド開催

- 会場：大崎市岩出山『凜菜・上の家』及び
オンライン〔Zoomウェビナー〕
※オンラインお申込みの方には、ID、パスワードをお送りします。
- 会場定員：10名程度
- 参加費：無料
- 申込方法：[QRコード](https://bit.ly/3kNMJLm) または <https://bit.ly/3kNMJLm>
よりお申込みください。
- 申込締切：2021年12月3日（金）13:00

講師



郷古 雅春 さん

宮城大学 事業構想学群 事業構想学研究科教授
宮城県農業土木技術職員として約30年間、農業土木行政に従事。東日本大震災後、農地復興推進室の初代室長に就任。2014年より宮城大学食産業学部教授、2020年より事業構想学群教授。世界農業遺産「大崎耕土」の申請時から関わり、認定後はアクションプランコーディネータを務める。



早坂 正年 さん

ブルーフーム株式会社代表取締役
2003年東北芸術工科大学卒業。2003-2013年リンベル株式会社にて様々な商品開発を経験。2014年東北の農産物を販売するブルーフーム株式会社を設立、ホテル・レストランへの業務用卸販売と一次産業をブランディングで支える商品開発コンサルティング業務を行う。グッドデザイン賞を5度受賞し、2020年に開発した雄勝ガラスがベスト100に選ばれる。

関係案内人



高橋 直樹 さん

大崎市世界農業遺産推進課長
2006年より大崎市職員として主に農業振興を中心とした産業経済部門の業務に従事。自然と農業の共生を意識した米づくり「ふゆみずたんぼ」の推進やラムサール条約湿地の保全活用などに携わる。2015年より、世界農業遺産認定申請及び、認定後のアクションプラン推進業務に従事。2020年から現職。

大崎地域では、SDGsの目標を、世界農業遺産を活用したアクションプランによって達成しようとしています。大崎地域のアクションプランの内容を学びます。

報告では、アクションプランの内容紹介、講師(専門家)からのアクションプランの評価、外部講師(実践者)からのアクションプランの評価を行い、次世代の実践者の立場から、アクションプランについての疑問や意見をお聞きします。

会場『凜菜・上の家』をご紹介！

明治21年に建てられた茅葺き屋根に土塀づくりの農家住宅。以前農家レストランを行っていた、旧千葉家住宅で、この地域の伝統的な農家建築である。



プログラム

- アクションプランの報告
高橋 直樹さん
- アクションプランへのコメント 世界農業遺産の価値と地域づくり 郷古 雅春さん
- 地域づくりの実践者の視点からのアクションプランへのコメント 早坂 正年さん
- セミナー参加者+リモート参加者からの質疑応答
司会：小金澤 孝昭（アクションプラン推進委員会委員長）

全国9か所にて開催！

詳細・お申込みはこちら

<https://www.esd-j.org/news/7515>

お問い合わせ：

特定非営利活動法人持続可能な開発

のための教育推進会議(ESD-J)

TEL：03-5834-2061(月木10:00~18:00)

E-mail：jimukyoku@esd-j.org